

平成 26 年

雲南市議会 3 月定例会
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成 26 年 3 月 5 日～7 日】

平成 26 年雲南市議会 3 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	3/5(水) 13時00分～	7 / 細木照子	一括	1, 2	9	3/7(金) 9時30分～	8 / 佐藤隆司	一問一答	13～15
2		19 / 堀江治之	一問一答	2, 3	10		11 / 西村雄一郎	一括	15, 16
3		2 / 中村辰眞	一問一答	4, 5	11	3/7(金) 13時00分～	15 / 細田 実	一問一答	16, 17
4	3/6(木) 9時30分～	4 / 矢壁正弘	一問一答	5～7	12		6 / 多賀三雄	一問一答	17, 18
5		1 / 松林孝之	一問一答	7, 8	13		9 / 周藤正志	一問一答	18～20
6	3/6(木) 13時00分～	10 / 高橋雅彦	一問一答	8～10					
7		5 / 白築俊幸	一問一答	10, 11					
8		17 / 堀江 眞	一問一答	11～13					

平成 26 年雲南市議会 3 月定例会 一般質問通告一覧表

平成 26 年 3 月 7 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	7	細 木 照 子 (一 括)	1.市民の健康づくり における病気予防 対策について	(1)保健行政や市立病院をはじめとした医療機関のご努力下、市民の健康管理は恵まれた状況にある。この状況の中で、「健康診断による早期発見」に取り組まれているが、それ以前の、いわゆる「病気予防」の分野にもっと力点をおいた健康づくり指導に力を入れるべきと考えるがどうか。 (2)食生活、運動、睡眠など生活習慣の強力な指導が欲しいと考えるが、考えを伺う。	担当部長
			2.子育て支援につい て	(1)「子育て休暇」を 3 年間位認め、その間、給料の 60%を公費支援し、休暇後は元の職場へ復帰出来るような形の支援態様が必要だと考えている。雲南市だけで実施できるものではないが、雲南市からアイデアを上申することが出来ないか伺う。	担当部長
			3.災害弱者への支援 について	(1)去年は度重なる豪雨、台風で大きな被害が出た。過疎化・高齢化により、地域の防災力が弱っている。災害弱者への支援策が急がれるが、市としてこの防災力強化を、どのように考えているか伺う。	担当部長
			4.畜産振興について	(1)雲南市や雲南農協等で組織する「雲南農業振興協議会」では、畜産振興支援対象を「3名以上の経営体」若しくは「集落営農組織」又は「法人」としている。現状の畜産農家が、経営体等に体制移行できるまでは、更にきめ細かい支援が必要だと思うが、考え方を伺う。	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5.「認知症徘徊 SOS ネットワーク」の普及啓発について	(1)行方不明になった認知症の方を早期に発見するため、平成 22 年 11 月に「徘徊 SOS 組織」が発足しているが、市民の認知度は低いと感じている。重要な組織であり、自治会等へもっと普及啓発を活発に出来ないか伺う。	担当部長
			6.「医福食農連携」の取り組みについて	(1)農林水産省は、2014 年度から医療や福祉分野と食料や農業分野が連携する「医福食農連携」の取り組みを強化する。高い機能性を持つ食品の開発・普及、薬用作物の生産、介護食品の開発、障がい者等の就労支援など、積極的に取り入れ支援できないか伺う。	担当部長
			7.市民バスの運行体制について	(1)市民バスの運行体制については、着々と充実が図られているが、「安全な場所への停留所の設置」、「停留所へ分かりやすい時刻表の設置」など、検討できないか伺う。	担当部長
2	19	堀 江 治 之 (一問一答)	1.防災計画について	(1)雲南市防災ハザードマップの修正と災害弱者の名簿作成について ①尾原ダムの完成により洪水時の水位変動が緩和された。これに伴いハザードマップを修正すると説明があっていたが、修正の進捗状況について伺う。 ②ハザードマップに記載されている一時避難所・指定避難所の中には、浸水の可能性があるなど避難所としては適切でない施設が多くある。実態に合った避難所を指定する考えはないのか伺う。 ③国の中央防災会議の防災基本計画で義務付けられた、災害弱者の名簿作成の取り組み方針について伺う。	市長 担当部長
			2.人口減抑制対策について	(1)雲南市総合計画の目標定住人口と人口減の現状について ①現行の雲南市総合計画の目標人口と現状の人口減をどのように受け止	市長 担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 公共事業の代替 地登録制度の創設 について	<p>めているのか。また、人口減の主な要因は何だと考えているのか伺う。</p> <p>(2) U J I ターン定住の現状と今後の取り組み方針について</p> <p>① これまでの U J I ターン促進の取り組みと成果はどうであったのか伺う。</p> <p>② 今後の U J I ターンの取り組み方針及び目標値について伺う。</p> <p>(3) 少子化対策に対する支援策について</p> <p>① 出生児減少に伴う少子化対策の支援策の現状と今後の対応方針について伺う。</p> <p>(4) 働く場としての企業立地と地場産業の育成について</p> <p>① 転出者の減・転入者の増のためにも働く場の確保が必須である。その対策の現状と今後の取り組み方針について伺う。</p> <p>(5) 過疎集落等自立再生対策事業の取り組みについて</p> <p>① 総務省は平成 26 年度予算に過疎対策として「過疎集落等自立再生対策事業」予算の倍増方針を打ち出された。雲南市として積極的に取り組むべきと思うが方針について伺う。</p> <p>(6) 第二次雲南市総合計画(平成 27 年度～平成 36 年度)について</p> <p>① 第二次雲南市総合計画における将来人口目標は、どのような考えで設定するのか伺う。</p> <p>(1) 公共事業の実施に伴う用地の確保は大変な労力を要するが、土地所有者の代替用地要望に速やかに対応できるように、代替用地の登録制度を創設する考えはないのか伺う。</p>	市長 担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
3	2	中 村 辰 眞 (一問一答)	1.市営住宅について	<p>(1)「市営住宅」は、公営住宅法の整備基準に則って整備されるものと理解している。市が「市営住宅」として入居を募集する「公営住宅」、「特定公共賃貸住宅」、「定住促進住宅」、「公社定住住宅」は、すべて公営住宅法の整備基準が適用されるかを伺う。</p> <p>(2)合併以前に建築された住宅が多く、築 40 年を経過しているものも現存している。耐震面についての現状を伺う。</p> <p>(3)市のホームページに、市営住宅一覧が掲載されている。この中には募集を停止しているものも含まれているのではないかと思う。情報を正確に伝えなければならないと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(4)高齢化が進む中、共用階段に手すりが無い住宅がある。改善すべきと考えるが見解を伺う。</p>	<p>担当部長</p> <p>担当部長</p> <p>担当部長</p> <p>担当部長</p>
			2.トロッコ列車とクルーズトレインを活かした観光戦略について	<p>(1)トロッコ列車について</p> <p>①雲南市も参加している出雲の国斐伊川サミットと木次線強化促進協議会において、それぞれの団体は木次線とどう関わっているか。</p> <p>②12月議会での一般質問において、トロッコ列車の稼働期間を最長で平成31年との答弁があったが、その根拠を伺う。</p> <p>③ラッピング列車構想があるが、トロッコ列車の代替となるか見解を伺う。</p> <p>(2)古代出雲とオロチ伝説を核とした観光について</p> <p>①市内各所に点在する古代出雲の源とも言える遺跡（神原神社の三角縁神獣鏡、岩倉遺跡の銅鐸、荒神谷遺跡の銅剣・銅矛）を関連付けて見せる事を考えてはどうか。</p> <p>②ヤマタノオロチ伝説を時系列にめぐるコース設定を考えてはどうか。</p>	<p>担当部長</p> <p>担当部長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(3)雲南市のPRについて</p> <p>①市長が先頭に立ち、島根県の玄関口である出雲空港や松江駅などでアピール活動をし、その行動をマスコミに取り上げてもらう事が出来れば、入りこみ客増加につながると考えるが見解を伺う。</p> <p>(4)JR西日本が計画している「クルーズトレイン」の誘致について</p> <p>①昨年末JR西日本が発表した「クルーズトレイン」に対して、12月25日に三江線改良利用促進期成同盟会が誘致の申し入れを行った。市が先頭に立って木次線への誘致に名乗りを上げるべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>②三江線も木次線も赤字路線である。このままでは廃止対象になるのではと心配している。「クルーズトレイン」を因として、雲南市の観光に対する熱意をJRに対して強調する事で、木次線の存続、またトロッコ列車の存続への働きかけとなると考えるが見解を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>担当部長</p> <p>市長</p>
4	4	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1.上水道・簡易水道 事業について	<p>(1)上水道・簡易水道事業について、有収率向上のため漏水調査・修理を行う計画となっているが、合併前に整備されたものを含め、市全域の本管の正確な配管図面が整備されているか伺う。</p> <p>(2)合併前に整備された上水道・簡易水道の本管は、私有地に埋設されていたものもあり、破損の原因にもなっていた。現在もまだ残っている箇所があるのか。あるとすれば配管布設替えの考えはあるのか伺う。</p> <p>(3)道路改良工事等、公共工事施工時に誤って水道本管を破損したという事例をよく耳にする。工事を請け負った施工業者への説明、注意喚起はどのような方法で行われているのか伺う。</p> <p>(4)水道局として公共工事発注者（市建設部・県・国など）との工事打合せ及び調整はどのようになされているのか伺う。</p>	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2.市内の公園維持管理について	<p>(5)上水道・簡易水道の本管の位置を示す表示のピン等を設置する考えはないか伺う。工事等による破損事故の防止、漏水位置の確認等役に立つと考える。</p> <p>(6)個人宅内の給水管の配管に対して水道局としてどこまで把握しているのか。クロスコネクション（上水道と自家水道が交じり合う事）等防止のためにはきちんとした管理が必要だと思うが見解を伺う。</p> <p>(7)松江市では、個人宅給水管の漏水修理の依頼があったときには、水道局として宅内配管図の提示が出来るようになっていていると聞かすが、雲南市は提示出来るのか伺う。</p> <p>(1)市内に大小を問わず公園の数はいくつあるのか。また、遊具施設を有しているのはその中に幾つあるのか伺う。</p> <p>(2)市として、公園・遊具等の安全の管理・パトロールはどのように実施されているのか伺う。</p> <p>(3)遊具施設の長寿命化をはかる上での軽微な補修がされていないように思える。ブランコやすべり台の下に出来る水溜りの補修、色の塗り替え等、少しの補修で遊具も長持ちし、子ども達も喜んで使用すると思うが見解を伺う。</p> <p>(4)遊具施設の中には老朽化が進み危険な状態の物もあると思うが、新しい遊具に更新していく考えはあるのか伺う。また、一度撤去された遊具についても地元からの要望があれば再設置が可能か伺う。</p> <p>(5)大東町内の公園では、昨年地元で説明の無いまま遊具の撤去が行われたとの声を聞いた。危険な遊具に関しては撤去も仕方のないことだと思うが、地元への説明等はどのように行われるのか伺う。</p>	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 保育園・幼稚園・小中学校・公園の便器の取替えについて	(1)最近建設された公の施設では洋式便器が設置されている所が多いが、以前からの保育園・幼稚園・小中学校・公園では和式便器が多い。最近の子ども達には和式便器の使用が出来ない子もいる。洋式便器の割合が多くなるように取替えていく考えはないのか方針を伺う。	担当部長
5	1	松林孝之 (一問一答)	1. 地域防災対策について	<p>本年2月策定の雲南市都市計画マスタープランにおいて、20年後の都市・地域づくりの基本方針が示された。安心安全なまちづくりの観点から、様々な災害を想定した施策が求められる。</p> <p>(1)加茂町においては本年が「昭和39年山陰北陸豪雨災害」から50年を迎える。赤川の堤防決壊による連坦地への浸水被害は甚大であった。その後改修された土手のコンクリートも50年を迎えようとしている。一般的にコンクリートの経年劣化の対応年数は50年と聞く。県河川であり、県の管轄ではあるが、市としても情報の共有は必須と考える。県との情報交換も含め、安全確認はとれているか。</p> <p>(2)加茂地内の赤川の、川幅と土手の高さ等の確保は改修が終了したとされているが、加茂町下神原の八口橋より下流から斐伊川との合流までの、通称「ナマズの尾」につながる付近は大きく右カーブしていて、増水時には水流の停滞が懸念される。この対策について、県や国へ強く要望すべきではないか。</p> <p>(3)39年災害時の当地域の最大時間雨量は67mmであった。昨今の異常気象によるゲリラ豪雨は100mmを超えることが想定される。連坦地には内水排除のポンプが設置してあるが、時間雨量に換算して、何mmまで対応できるか。</p> <p>(4)39年災害では土砂災害により、尊い人命が失われた。雲南市は8割が山林であり、山間部では水害よりも、がけ崩れ・土砂崩れへの対策が必要である。抜本的な改修計画が求められるが、まずは、本年度見直された「ハザードマップ」の活用による、住民意識レベルの向上が必要である。地域の現状に則し</p>	<p>建設部長</p> <p>建設部長</p> <p>建設部長</p> <p>統括危機管理監</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>た避難計画の作成及びその周知について、どのように考えているか。</p> <p>(5)防災行政無線の整備を調査することだが、非常時の情報伝達にはとても有効な手段である。運用は非常時のみを想定しているか。</p> <p>(6)避難所の多くは学校施設である。39 災時も加茂小学校に 1,381 名の避難があった。当時の加茂町の人口が約 7,200 人余り。本年 1 月末で 6,299 名であるが、加茂小学校に避難される人の想定人数は何人か。</p> <p>(7)避難所になる学校施設や交流センターの今後の修繕計画に、ユニバーサルデザイン導入の観点からトイレの洋式化を取り入れてはどうか。</p> <p>(8)防災・減災の意識向上には就学時から取り組むべきと思うが、現状と考え方を問う。</p> <p>(9)旧市街地の防災の共通する点として、火災への対応が必須である。都市計画マスタープランの観点から、水利の確保と住宅集積地の類焼防止のための空きスペース確保のために、空き家対策を含め、防災の視点での要素も必要と考えるが、所感を伺う。</p> <p>(10)昨今の地球環境においては、想定外の災害が多発している。住みよい雲南市を提唱し、定住人口増加を目指すのであれば、防災・減災に妥協は許されない。包括的な方針を伺う。</p>	<p>統括危機管理監</p> <p>統括危機管理監</p> <p>担当部長</p> <p>教育長</p> <p>統括危機管理監</p> <p>市長</p>
6	10	高橋雅彦 (一問一答)	1.子育て支援について	<p>(1)基本的事項の質問</p> <p>①市が取り組まれている子育て日本一の環境整備について、どのような視点を持ち、対策が進められてきているか伺う。</p> <p>②子育て環境日本一を目指すには、何が必要と考えているのか。</p> <p>(2)雲南市に求められる姿勢について</p> <p>①幼稚園と保育園の入園希望者数の差が拡大した。何故このような現象が起きたのか。その原因をどう捉え、どのような対策をなされたのか。</p>	健康福祉部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2.農業振興について	<p>②国から幼保一体化を目指す認定こども園政策が進められているが、全国的にはなかなか進まないと聞いている。幼稚園と保育園ではその存在目的は異なるが、共働きと核家族などで求められる環境が大きく変化した。施設等の問題もあるが、むしろ行政内部の整理ができなかったために進まないのではないかと。進まない理由について伺う。</p> <p>③平成26年度の方針として、子ども・子育て支援事業計画策定とその準備を進めることとなっている。幼稚園と保育園の実態を踏まえた基本方針を早急に示す必要があるのではないかと。</p> <p>④放課後児童クラブの充実について、保護者や自主組織から多く要望が出ている。全国を見てもいろいろな運営方式で取り組まれている。雲南市の場合は大小の違いはあるが、民間のボランティアで取り組まれており、地域要望が強い中で市の支援体制は極めて弱いと感じる。専門職員を配置し、自主組織等と協議し対策を講じるべきではないかと。</p> <p>⑤放課後児童クラブの施設環境について</p> <p>ア. どのような施設でどのような運営がなされているか伺う。</p> <p>イ. 一部の施設ではもともと危険な建物とされた中で運営をされているところもある。地域要望も何回かされているが、子育て支援の基本方針が不明確で方向性についても回答がなされていない。安心・安全を掲げる市の姿勢に疑問を持たざるを得ない。対応について伺う。</p> <p>(1)新たな農業改革について</p> <p>昨年、矢継ぎ早に出された国の農業大改革について、12月の一般質問で市長からは中山間地域の農業を守ってこそ日本農業の大改革だと強いメッ</p>	産業振興部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>セージがあった。この改革に対する市の 26 年度施策について伺う。</p> <p>①農業大改革についての基本方針を現在農水省でまとめられていると聞くが、その方針が出たか。出ていなければ市でどこまで把握されているか。</p> <p>②平成 26 年度の農業振興策に、この大改革に対する対応策はどう反映されているか。</p> <p>③12 月の一般質問で、「中山間地の農業を維持するには、品目別の住み分けを国策とする必要がある」と提唱すべきと述べたが、市として検討されているか伺う。</p> <p>④雲南市で取るべき道は、地産地消、地産都消、6 次産業化で、しかも流通対策が絶対に必要と考える。付加価値をいかに生産者に還元するかが大きな課題であり、J Aを通じた販売、生産者直接販売、小売り店への直接販売など、流通を通して求められる商品に基づく生産基盤整備が必要ではないか。国が世界と戦える日本型農業を目指すならば、大型農業を目指さず、目の行き届いた小さな農業を目指し、消費者から絶対的に信頼される農業基盤の確立を目指す戦略が必要と考えるが、考えを伺う。</p>	
7	5	白 築 俊 幸 (一問一答)	1.第 2 次総合計画の 策定について	<p>(1)昨年 7 月の市のアンケート調査結果によると、合併は良かったか、悪かったかの問いに、大まかに分類すると、良かったは 34%、悪かったは 24%、どちらとも言えないが 42%となっている。この結果についてどの様に受け止めているのか伺う。</p> <p>(2)合併が悪かったとの具体的内容は、①市域が広がって市民の声が届きにくくなった②地域格差がより広がった、等々である。これらの声を新計画にどう反映させていくのか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2.農業政策について	<p>(3)施策の決定に当たっては、「あれもこれも」から「あれかこれか」、あるいは「選択と集中」と言われている。単に、市民に我慢を強いる言い訳であっては困るが、具体的な施策決定に際し、どの様に思考プロセスが行われているのか伺う。</p> <p>(4)定住対策について、先般の中央新報によると、その施策如何が各市町村の社会増減を左右しているとされ、中山間地域の町村でも増加している中で、雲南市は残念ながら、その中に入っていない。今後の定住対策について、改めて決意と対応策を伺う。</p> <p>(1)集落営農及び認定農業者による市内農地のカバー率はどれくらいか。</p> <p>(2)農政の大改革を控え、集落営農に対する考え方、及びその育成策について伺う。</p> <p>(3)新規計上の「集落営農ステップアップ事業」については、更新を補助対象にしていることは評価するが、農業機械が大型化している中で、2分の1補助、最大25万円は低すぎるのではないか。</p> <p>(4)農地・水保全管理支払交付金制度は日本型直接支払制度へ衣替えすることになるが、これまでも中山間地域直接支払制度と内容がカブリ、取組みが難しかった。円滑な移行を、どう進めて行くのか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>担当部長 市長</p> <p>担当部長</p> <p>担当部長</p>
8	17	堀江 眞 (一問一答)	1.県道の改良整備について市の考えを伺う	<p>(1)各路線の期成同盟会について</p> <p>①期成同盟会の役割・効果について伺う。</p> <p>②現状の主な活動状況を伺う。</p> <p>③雲南圏域幹線道路改良促進期成同盟会が所管する路線を伺う。</p> <p>④優先順位をつけて要望しているのか。</p> <p>⑤主要地方道掛合・上阿井線梅木地内から芦谷に向けて、トンネル計画</p>	<p>市長</p> <p>担当部長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>があった。途中で立ち消えになったが、現在市はどのように認識されているのか。県の考えも分かれば伺う。</p> <p>⑥主要地方道の梅木～芦谷地区間は、生活道路として不可欠の道路である。トンネルの整備計画との関係もあるが、現道（芦谷坂）の改良と安全対策実施が必要と考える。方針を伺う。</p> <p>⑦宇山地内、民谷地内の一般県道吉田・頓原線の改良について、引き続き改良が求められている。見通しを伺う。</p> <p>⑧一般県道吉田・奥出雲線（杉戸・仁多線）は昨年深野～上山間バス停まで2車線で改良された。バス停から女鹿山・小川内地区、奥出雲町大吉地区にかけて未改良のまま残っている。また、曾木地内交差点付近の改良が引き続き求められている。今後とも強力な要望活動が必要と考えるが、考えを伺う。</p> <p>⑨吉田・三刀屋間の改良は期成会の中に入らないのか伺う。どこで要請されているのか。</p> <p>(2)中国横断道期成同盟会について</p> <p>①中野地区の現道との近接地にスマートインターを設置できないか。過去にも要望があり、今後の課題として残されたと認識している。全線完成前に話題に上げて動き出すべきではないか。考えを伺う。</p> <p>(3)市道の改良について</p> <p>①市道として認定されている本線に取り付けられた小規模支線道路について、取り付け口の改良が要望されている。救急車の高度化・大型化に伴い、現道では入らないという不安、また除雪についても高齢化とともに不安を口にされる。各総合センターで調査し、対応の必要があると思う。考えを伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				②先に質問した、車イスも使用できない長い木戸道などの改善策がどのようになっただか伺う。対策が講じられるか。	
9	8	佐藤隆司 (一問一答)	1.10年後の市の将来像について	<p>(1)第2次総合計画の策定について</p> <p>①所信表明で「市政施行10年を迎え、26年度は次の10年を考える年にしていく」また、「雲南市の持続可能な地域づくりのために定住人口の増加こそ最重要課題」と力強い表明があった。この節目は、市政のリニューアルであり、白紙のキャンパスに新たに筆を入れ、市民の皆さんに未来を描き夢と希望が感じられる町づくりを示すことも必要であると考えているが、市長の所見を伺う。</p> <p>(2)インターチェンジ名称の変更について</p> <p>①いよいよ陰陽を結ぶ大動脈の高速道が全線開通する。将来の限りない発展を見据え、広く『雲南』の名称をPRするとともに積極的にアピールするために、『三刀屋木次』インターチェンジの名称を変更することも必要だと考える。所見を伺う。</p> <p>②一つの節目を迎え、名称の変更は市の更なる発展となり、一体感の醸成のためにも今後10年間の最大目標に掲げ取り組むことが必要と考えるが、名称変更の課題・問題点は何か。</p> <p>(3)吉田町菅谷たたら山内の今後の観光戦略について</p> <p>①2月22日に保存修理工事現場見学会が実施された。この意図は何か。(人数制限や参加者の募集範囲)</p> <p>②菅谷たたら山内について、中国地方圏域や国内的な遺産価値についての認識を伺う。</p> <p>③歴史・文化・産業遺産のたたら山内に今後何を期待(目指す)しているのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育委員会</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2.定住促進について	<p>④映画「(仮称) たたら侍」への支援は、市としてどのような戦略(仕掛け)を持っての取り組みなのか。</p> <p>⑤「菅谷たたら山内」保存修理完成までのカウントダウン表示など、PR方法の工夫が必要と考えるが。</p> <p>(4)国民宿舎清嵐荘の改築整備について</p> <p>①昨年の9月定例会の施政方針で「国民宿舎清嵐荘を改築整備する方針で、来年2月の実施計画へ計上するため整備内容の検討を進める。」と表明された。整備内容をどのように検討されたのか。</p> <p>②一年々老朽化し危険度も増している施設であり利用者が年々激減する中、経営にも負担がかかっている。集客、宿泊の施設として賑わいの確保や市のサービス施設のイメージ低下を防ぐためにも、改築整備に向け実施計画に示される必要があると考えるが、なぜ示されないのか見解を伺う。</p> <p>③全国高校総体のボート競技の開催が決定しており、平成27年度にはリハーサル大会、平成28年度には本大会が開催される。また、尾原ダムでの今後のスポーツイベントの開催などにより雲南市をPRし、市内循環型経済効果をもたらす絶好の機会である。スピード感を持って1年でも早く整備されることが必要であるが、平成30年までの実施計画期間での改築整備はできないのか見解を伺う。</p> <p>(1)住宅地の確保について</p> <p>①住宅地の確保については、12月定例会での答弁では金丸団地の第2期分譲のほか未利用の市有地の活用、民間の宅地などで対応するとのことであった。市長は最近「定期借地権制度」を活用する旨の発言をされているが、具体的な考え方を伺う。</p> <p>②土地所有者、民間業者、行政の三者による三方一両損となるシステム(仮</p>	<p>市長</p> <p>産業振興部</p> <p>産業振興部</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				称)「住ま居る(スマイル)プロジェクト」を提案するが、見解を伺う。	
10	11	西村雄一郎 (一括)	1.議案の提案、案件の 取り扱いについて	(1)防災無線整備が8億円で計画されている。これまでの一般質問では、防災無線の必要性を訴えたのに対し、拒否された。方針変更はなぜ、どのように意思決定されたのか。 (2)8億円にもなる事業の方針変更については、議会提案者にその旨通知すべきではないか。	市長 担当部長
			2.耳が不自由な人の ために	(1)補聴器については医師の診断に基づいて、所定の補助がされているが、仕事上、たとえば耳掛け型より、耳穴型が良い場合、自己負担が増える。業務上等必要な場合、市の上乗せ助成ができないか。 (2)難聴者協会が解散状態にある。耳が不自由な人の交流、生きがい創出や関係情報の共有等のため、再発足が必要と思う。働きかけることはどうか。 (3)コミュニケーション手段としては、①補聴器(69.2%)、②筆談等文字(30.2%)とされている。講演会では、内容を文字情報とする要約筆記が欠かせない。 ①雲南市内には要約筆記登録者が12名(広域福祉会)。雲南市内で講習会を開き、養成するのはどうか。 ②人の口述をすぐ文字にする要約筆記はむずかしい技術だ。市主催の講演会等において、ゆっくりはっきり話すようお願いできないか。	担当部長
			3.自死対策について	(1)毎年、自死をする人がでてくる。平成24年の自死死亡率は、全国21、島根県22.8、雲南圏域26.7であり、雲南圏域は高い。そうした中、例年100万円の自死防止対策費が59万円と、26年度は減額されている。な	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ぜか伺う。</p> <p>(2)雲南市は、全国、島根県の中でも自死死亡率が高い。市単独での対策を行うべきではないか。</p> <p>(3)対策には、住民啓発、保健師の介入手法の取得など多岐にわたるが、その一つに精神医療の充実がある。市立病院の神経内科、精神科を常勤化できないか。</p> <p>(4)医療関係者の自死への認識を高めることも、自死防止のために重要との研究もある。研修等なされているか伺う。</p>	
1 1	1 5	細 田 実 (一問一答)	<p>1.安全、安心なまちづくりについて</p> <p>2.エネルギー政策について</p> <p>3.政治情勢の認識について</p>	<p>(1)東日本大震災から3年を迎える。市長の所感と、安全・安心のまちづくりへの考え方を伺う。</p> <p>(1)島根県に原発に頼らないエネルギー政策を求める「島根県エネルギー自立地域推進基本条例」制定請求署名は、多くの県民の署名で請求され、関心の高さを伺うことができる。条例の趣旨に向って県がリーダーシップを発揮することは、雲南市の新エネルギービジョン推進に大きく寄与すると思う。市長見解を伺う。</p> <p>(1)最近の新聞の見出しを見ると、憲法改正、集団的自衛権の行使、特定秘密法、靖国参拝、武器輸出緩和、武器使用緩和などなど見出しが躍る。安倍政権は「戦争のできる国」を目指しているのではないかと不安を持つ。市長はどのように感じているか。</p> <p>(2)地方から平和な社会建設にどう取り組むのか。また、新年度で具体的施策は有るのか。</p> <p>(3)教育委員会制度の改革が議論されている。政治が教育に介入する誤り</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4.子ども・子育て支援について	は、過去の歴史が証明している。改革議論をどのように捉えているのか。 (1)保育所では定員を上回る入所希望がある。子供が安心して育てられる環境にないのではないかと。「ニーズ調査」分析後計画を立てるということだが、子供、保護者にとっては早急の施策が必要だ。どのように考えているのか。	市長
			5.観光施策について	(1)また映画作りを支援するのか。映画「うん、何？」制作総括はどのようにされているのか。(入場者、費用対効果など) (2)支援する必要があるなら、他の監督の違う視点での制作を支援するのも一考ではないか。	市長
1 2	6	多 賀 三 雄 (一問一答)	1.安倍政権の政策と 市民生活について	(1)「アベノミクス」は、市民生活・市内経済にどんな効果をもたらしているか。 (2)今後、市民の収入(賃金・年金)、支出(消費税・社会保険料・公共料金など)は、どうなると考えているか。 (3)それに対して市民生活・市内経済を守るために、どんな対策をとるのか。	市長
			2.子育て支援について	(1)市内出身の若者世代が松江市・出雲市に住むのはなぜか。 (2)それを引き止め、呼び返し、呼び入れるために、思い切った施策が必要だと思うが、どんなことを考えているか。 (3)保育所と保育士の拡充が必要では。保育士は命を預かる職である。有資格者で、臨時職員を正規職員とし、待遇改善を図るべきである。そうしなければ確保も難しいのではないかと。 (4)放課後児童クラブの老朽化した施設を早急に改善すべきでは。	市長 担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3.地域自主組織・交流センターについて	<p>(5)放課後児童クラブを全小学校区に、市の責任で設置すべきと思うが、どうか。</p> <p>(6)子ども医療費を中学校卒業まで、高校卒業まで拡充すべきではないか。</p> <p>(1)それに何を求めているか。その現状と課題をどう捉えているか。</p> <p>(2)市の担当職員（総合センターを含め）の役割は何か。具体的に何をしているか。住民の所に出て行って実態を把握しているか。</p> <p>(3)交付金が将来的に維持されるのか。住民会費や事業収益に頼るようになるのではないか。</p> <p>また、地域自主組織には、もっと交付金の使途を柔軟にして欲しいとの声がある。検討できないか。</p> <p>(4)法人化の目的は何か。</p> <p>(5)そもそも何のための自治体か。市がすべきことを地域に押し付けようとしてはいけないか。</p> <p>(6)出来る組織と出来ない組織がある。福祉の公平性が保たれるか。</p> <p>(7)市が決めたことを押し付けるのではなくて、地域の主体性・自主性を尊重し、地域が自主的にやりたいことがあれば、それを支援する形にすべきでは。</p> <p>(8)制度変更のときは少なくとも1年以上前に示して住民の声を聞くべきでは。</p>	市長 担当部長
13	9	周 藤 正 志 (一問一答)	1.市民と行政の協働によるまちづくり	<p>雲南市誕生10年の節目となる新年度のスタートを迎えるに当たり、市長所信表明における課題、問題点を質す。</p> <p>(1)地域自主組織について</p> <p>①全て一律に法人化を目指すのか。</p>	政策企画部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			について	<p>②求める水準、ハードルを高くするのではなく、「防犯・防災」、「地域福祉」、「景観保全」というミニマムな土台をしっかりとつくるのが大事だ。地域の「景観保全」をテーマに円卓会議で協議すべきだ。</p> <p>(2)移住・交流の推進について</p> <p>①「雲南暮らし体験ツアー」は残念ながら市民には認知されていない。今後、どう取り組んでいくのか。</p>	市長
			2.環境に配慮した安全・快適な生活環境づくりについて	<p>(1)浸水害の未然防止について</p> <p>①本来は県がすべき排水ポンプ車の配備を、市が行うとしているが、防災拠点である新庁舎建設が始まる中、請川への固定排水ポンプの設置は実現できるのか。</p> <p>②経験したことのない豪雨が頻発する中、請川、新田川、三谷川の3河川へ同時対応ができるのか。</p> <p>(2)原子力安全協定について</p> <p>①引き続き、安来市、出雲市と連携して締結の働きかけをしているが見込みはあるのか。</p>	副市長 建設部長
			3.地域で支えあうくらしづくりについて	<p>(1)健康づくりについて</p> <p>①都市宣言よりも健康づくりを重要政策として認識してもらうこと、具体の実践を積み重ねることが何より大事ではないか。</p> <p>(2)特別養護老人ホームについて</p> <p>①「えがおの里」増床、「みとやの郷」開所などによる看護師や介護職員の確保はされているのか。</p>	市長 副市長 健康福祉部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4.賑わいあふれる雲 南市について	<p>(1)神原企業団地について</p> <p>①完成までに時間と費用がかかりすぎるのではないか。</p> <p>②現在、分譲できる企業団地は藤ヶ丘 1ha だけであり、H30 年度までに進出の引き合いがあった場合どう対応するのか。</p> <p>③売れ残るリスクもあるが、責任の所在も含めどう対応するのか。</p> <p>(2)中小企業振興基本条例について</p> <p>①この条例は「中小企業振興をまちづくりの大きな柱に据え、総合的に推進することによって、地域内経済循環を高め、市内経済活性化と市民生活の向上に資するものでなければならない」が、市長の決意を伺う。</p>	<p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>